

陸産貝類

※見られるマイマイのごく一例です



アケボノカタマイマイ
Mandarina polita

地上性で母島の絞ヶ崎など、集落の近くでも見ることができます。



オトメカタマイマイ
Mandarina kaguya

母島の乳房山から南側に生息する樹上性のマイマイ。以前今までヒメカタマイマイと同種だと考えられていましたが、研究が進み別種であることが分かりました。



ヌノメカタマイマイ
Mandarina ponderosa

地上性のマイマイで乳房山の登山道沿いでも希に見ることが出来ます。



ヒメカタマイマイ
Mandarina hahajimana

母島の北部に生息する樹上性のマイマイ。オトメカタマイマイと外見がそっくりで、見た目だけでは区別することは困難です。



クロカタマイマイ
Mandarina sp. B

地上性のマイマイで、母島の南崎で見ることができます。バンドと呼ばれる帯状の模様がありません。



コガネカタマイマイ
Mandarina aureola

母島のいろいろな場所で見ることができます。個体によって殻の色に違いが出やすく、白や茶色、黒などいろいろな色があります。



テンスジオカモノアラガイ
Boninosuccinea punctulispira

オガサワラオカモノアラガイよりも殻がしっかりしていて、殻の後ろ部分が少し巻いています。



オガサワラオカモノアラガイ
Boninosuccinea ogasawarana

巻き貝の仲間ですが、殻が退化して無くなりかけています。常に湿った環境を好み、乳房山や石門などに生息しています。



イオウジマノミガイ
Elasmias kitaiwojimanum

樹上性で体長2~3mm。母島や北硫黄島にも生息しています。



オガサワラノミガイ
Lamellidea ogasawarana

樹上性で体長2~3mm、小笠原諸島に広く分布しています。



キビオカチグサ
Cavernacamella minima

小笠原諸島に広く分布しますが、母島の石門では複数の系統が生息、分化しています。



トライオンノミガイ
Tornatellides tryoni

体長2~3mmの微小貝で、小笠原諸島に広く分布しています。地面も樹上もよく利用し、ビロウの葉の裏についているのをよく見かけます。



オガサワラヤマキサゴ
Ogasawarana ogasawarana

地上性のマイマイで、よくビロウの枯れ葉に隠れています。ヤマキサゴの仲間は、普通のマイマイと異なり殻の口に蓋があります。



ヒラセヤマキサゴ
Ogasawarana hirasei

ラピエと呼ばれる石灰岩のすき間に生息します。他のヤマキサゴと比べて平べったい形をしています。



ハゲヨシワラヤマキサゴ
Ogasawarana metamorpha

幼貝の頃は殻に毛が生えていますが、年をとるとだんだん無くなります。



スバスバヤマキサゴ
Ogasawarana nitida

その名の通りすばすべです。タコノキやツルアダンという植物の葉の隙間でよく見られます。

陸産貝類



チチジマスナガイ
Gatrocopta chichijimana

体長1~2mmの母島の石門で見られる非常に小さいカタツムリです。肉眼では見えませんが、殻の入り口に小さい牙が生えています。



ウスカワマイマイ
Acusta despecta

日本各地で見られるカタツムリ。小笠原でも街中で見られます。皮が薄く、軟体部（体の）模様が透けて見えます。

※見られるマイマイのごく一例です



ミヤコマイマイ
Satsuma mercatoria miyakoensis

小笠原では父島でしか見られない外来のカタツムリです。ぱっと見、カタマイマイに似ているので固有種に間違われます。